

## 一般財団法人 有本積善社 第36回番組審議会議事概要

- 1 開催年月日：令和2年7月30日（木）16：08～17：10
- 2 開催場所：京都府舞鶴市字円満寺158-6 西市民プラザ2階 市民活動団体活動室
- 3 委員の出席：  
委員総数： 7名  
出席委員数： 4名  
出席委員の氏名： 水嶋純作、尾関善之、山内茂樹、山下美晴  
欠席委員の氏名： 今安博和、松井恭子、楠 崇智  
放送事業者側出席者名： ジェネラルマネージャー 時岡浩二  
放送局長 中西 進  
制作チーフ 上田秀篤  
制作スタッフ 奥野あかり

### 4 議題

#### (1) 報告事項

- ① 7月第2週から「Cool Choice 775」と題した一連の番組、CMを始めた。地球温暖化を防止する意識啓発運動で環境省の補助金事業。録音CMや生放送番組内での生読みCM、サテライトスタジオでの月2回の公開生放送などを行う。全国のコミュニティ放送局100局以上が参加し、来年3月いっぱいまで続く。
- ② 新聞でも紹介された中筋小学校創作の「コロナに負けるな体操」の歌を放送で紹介している。PTAと教師・児童らで作った体操で、PTA関係者の番組ゲスト出演や児童等へのインタビューを放送している。コミュニティ放送らしいコンテンツだと好評である。また、三笠小学校の教師から、児童がコロナ禍に対応して、マスクを作って販売するなどの活動を考えており、取材・放送依頼があったので、進める予定である。
- ③ コロナ禍で高校のクラブ活動（運動・文化部両方）外部大会が軒並み中止になり、生徒の活動発表の場がなくなっている中、西舞鶴高校の吹奏楽部が普段の活動場所である体育館の使用スケジュールを運動部と調整し、独自に3年生の卒部コンサートを開催した。コロナ禍のなかでの生徒や顧問教諭の思いとコンサートの模様を、日曜日正午から放送している「海の京都吹奏楽フェスタ」で8月上～中旬に放送する予定。東舞鶴高校吹奏楽部でも同様の企画があり、8月下旬以降に放送する予定。学内のみの発表の場を地域の方々にも聴いてもらうことで、3年生生徒の達成感に少しでも寄与できればと考えている。
- ④ 新パーソナリティ候補3名が8/5（水）に7回に亘る集合研修を終了予定で、その後、個人別にスタジオ実習など行い、9月初旬から番組にデビューする予定。

#### (2) 番組審議

2020年7月24日（金）09:06～09:20 放送の、

ラジオ散歩★舞鶴ウォーカー「吉原の万灯籠（よしわらのまんどろ）」

パーソナリティ：T.N

ゲスト：男女 各1名

番組内容：番組提供スポンサーからの持ち込み企画で、月1回の放送（再放送あり）。舞鶴散歩人（さんぽびと）という方が舞鶴の伝説や逸話をまとめた

ホームページのネタをもとに、知られざる舞鶴を紹介し再発見する番組。舞鶴市内のいろいろな地区の話や伝統行事を紹介する。今回は吉原地区の「万灯籠（まんどろ）」（火祭り）を取り上げた。

## 5 議事の概要

- ① 上記（1）項の報告内容を審議委員に説明。
- ② 上記（2）項の審議番組に対する意見を審議委員各位から聴取。

## 6 審議内容

### 【審議番組に対する委員の主な意見】

- ① コミュニティ FM 局が、こうした地域を知る番組を制作するのは、良い取組である。
- ② 「吉原の万灯籠」は毎年 8 月 16 日に開催されるが、今年はコロナ禍のため中止となっている。この時期にタイムリーに放送したのはよい。
- ③ 「万灯籠」のいわれをパーソナリティとゲスト男女の 3 人で、朗読の形で紹介したのは面白い。舞鶴の人も意外と知らないところを紹介している。
- ④ 14 分という短い時間で、パーソナリティの番組オープニングトークを含め、5 分半位までが、男性ゲストが経営するハーブ園の話しであった。「万灯籠」との接点があまりないのに無理矢理くっつけた感じがした。番組構成や場面転換をうまく考える必要がある。
- ⑤ 番組タイトルが「吉原の万灯籠」なのに、最初から聴いているとハーブ園の話しが長く続き、急に「万灯籠」の話しになった。「散歩」の主体がハーブ園なのか万灯籠なのか分かりづらかった。例えば、散歩でハーブ園へ行き、歩いて吉原地区へ行くといったストーリー性があるとよかった。
- ⑥ ハーブ園の話しのなかで女性ゲストの写真の話しは楽しかった。むしろ、ハーブ園と写真の 2 つで別番組としてまとめたほうが完結性は高いだろう。
- ⑦ せっかく吉原地区を紹介するのであれば、最近、国の有形登録文化財になった銭湯も紹介するのがよかった。また、吉原地区の人の話がないのは寂しい。地元の人が聴いたらハーブ園の話しに偏っていたと感ずるだろう。14 分の番組構成を考える必要がある。

### 【その他の番組関係の意見】

- ① 今年は戦後 75 年の節目、舞鶴には引揚記念館があり、10 月 7 日には条例制定された「舞鶴引き揚げの日」を迎える。市民へ啓発する番組を制作してはどうか。
- ② 舞鶴の各分野でそれぞれの発展のために頑張っている人を取り上げてほしい（ゲスト出演に推薦していただければ考慮する）
- ③ 高校生が地元の商店街を取材し、研究成果にまとめる話がある。今日、報告があった吹奏楽部の発表の場としてラジオで放送するのと同様に、研究成果を番組で取り上げるのはどうか。

## 7 審議機関の答申又は改善意見に対してとった措置及びその年月日

当審議会が出た意見を局内会議で議論し、今後の番組構成・内容等の改善に資するよう担当パーソナリティと企画者であるスポンサーに伝えた。（令和 2 年 8 月 6 日）。

8 審議機関の答申又は意見の概要を公表した場合におけるその公表の内容、方法及び年月日

- ① 令和2年8月13日 この審議会議事概要を演奏所事務所に備置き、閲覧できるようにした。
- ② 令和2年8月13日 この審議会議事概要をホームページに掲載。

9 その他の参考事項

特になし

以上